

施設マネジメントの基本的な考え方

○全学的体制の構築

- 施設マネジメントは大学経営の一環
- 経営者層、本部事務局、部局等を含めた機動的な体制づくりが不可欠
- 施設担当部課は、必要な情報を収集・分析し、経営者層に提供

○事業効果の想定

- 施設マネジメントの実施は事業効果を実現するための手段
- 事業効果を想定して施設目標を設定する
- 事業実施後に事業効果の評価を行う

○管理運営費の確保

- 保有施設の健全な維持が重要
- 施設を健全に維持するためには将来にわたり費用が必要
- 管理運営費の把握と費用の確保が必要

施設マネジメントの実施手法

○施設マネジメントの視点

【クオリティ】 質の向上

- 施設利用者の要望に配慮
- 安全及び教育研究等の諸活動を支援する機能等を確保

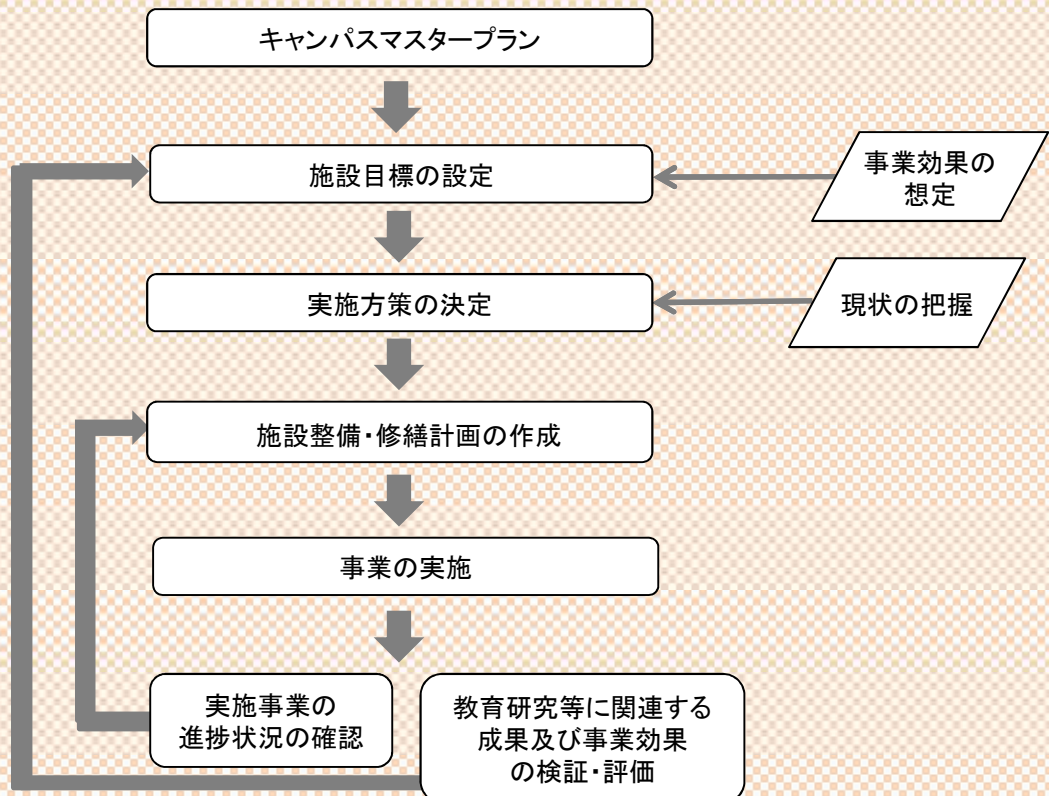
【スペース】 施設の有効活用

- 全学的なスペース管理
- 既存スペースの適切な配分
- 新增築等による施設の確保

【コスト】 費用対効果の向上、資産価値の維持

- クオリティ及びスペースの確保・活用にあつる費用の管理
- 維持に係る費用の管理
- 予算の確保

○施設マネジメントの流れ



施設マネジメントの推進方策

○国の推進方策

- 情報提供、ベンチマーク、環境づくり

○国立大学等の推進方策

- 人材育成、業務のアウトソーシング、普及啓発